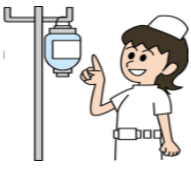







経皮的血管形成術（鼠径） 2泊3日

| 経過 | 入院日(治療前日) | 治療前 | 治療後 | 退院日(治療翌日の午後) |
|------|---|--|--|---|
| 退院基準 | 穿刺部に問題がない | | | |
| 月日 | / | / | / | / |
| 達成目標 | 身体的準備ができている | | 合併症の症状・所見がない 穿刺部に問題がない | 合併症の症状・所見がない 穿刺部に問題がない 日常生活の注意点について理解できる |
| 処置 | 必要に応じてレントゲン、血液検査などを行います 足の動脈に印をつけます(足の印は消さないでください) | 手術着に着替えてください (ズボン、靴下は着用しないでください) おむつ、弾性ストッキングを着用してください 点滴の針を入れます 除毛をすることがあります 必要に応じて尿管を留置します | ベッドで部屋へ帰ります 止血のため圧迫帯を巻きます 4～6時間後、圧迫帯はずします | 血液検査を行います 絆創膏をはがします 化膿止めの軟膏を塗ります 1日3回(朝、昼、夕)3日間使用してください |
| 薬剤点滴 | 必要に応じて点滴を行います |  | 点滴を行います 飲水と尿の程度により点滴を追加することがあります |  |
| 薬剤内服 | 休薬の指示がない場合はいつも通り内服してください | | 治療内容により薬が開始になる場合があります | |
| 食事 | 特に制限はありません | やや控えめにしておくとよいでしょう | 寝たまま食べて下さい ご飯をおにぎりにします 水分は多めにとりましょう |  |
| 安静度 | 病棟内の歩行ができます | | 止血を確認するまでは上向きで寝たままです 圧迫中の足は曲げないでください 医師にて止血を確認後、出血がなければベッド上で自由にできます | 必要に応じてテストを行い、異常がなければ病棟内の歩行ができます |
| 排泄 | トイレに行けます |  | 動けない間の排泄は看護師介助の下で行います 男性：尿器を使用してください 女性：尿管を入れたままです 排便はベッドの上で便器を使用します 翌朝8時まで尿量の測定をします | 尿管を留置した場合は安静が解除されたら抜去します 尿管を抜去した後はトイレに行けます |
| 清潔 |  | | | 希望される方はおしぼりで体を拭くことができます 退院後は自宅にてシャワーが可能です |
| 説明同意 | 治療の時間は決まり次第お知らせします 化粧・マニキュアは落としてください ～準備するもの～ ① 薬のみ又はストロー ② スプーン ご不明な点は主治医、看護師にお尋ねください | 眼鏡・入歯・時計・指輪・ヘアピン・かつらなどの装飾品はすべてはずしてください 造影剤で体が熱く感じる場合があります | 水分摂取を心がけてください 胸部症状がある場合や気分が悪いとき、穿刺部の腫れや出血がある場合はお知らせください | 異常がなければ昼食後退院できます  |

* 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります

* 入院期間や治療内容は現時点で予想できるもので、症状により変わります